

# 平成27年度 夏のコンプライアンス推進週間

## eラーニングによるコンプライアンス研修（紙媒体受講用）

### 徳島県教育委員会コンプライアンス推進室

H27年度 夏のeラーニング

徳島県教育委員会コンプライアンス推進室

#### Page1 はじめに



平成24年度より、開始しましたeラーニングも今年で4年目を迎えました。25年度までの2年間、増加傾向にあった不祥事は、昨年度、減少に転じましたが、不祥事根絶には未だ至っておりません。今年度も地道な取組の継続が求められています。「知識」と「意識」の更新のため、今年もしっかりと取り組んでください！

今回のeラーニングは、文部科学省が今年の1月30日に公表した「平成25年度公立学校教職員の人事行政調査」のデータから主として7つの項目から出題します。この研修受講で得た知識を「きっかけ」として、各所属で不祥事を根絶する取組をさらに深めてください。

この欄は本文です。問題や選択肢、知っておくべき内容などが表示されます。選択肢がある場合は矢印をクリックしてください。

この欄はコラム欄です。本文の解説やミニ知識などを記載します。お読みください。

H27年度 夏のeラーニング

徳島県教育委員会コンプライアンス推進室

#### Page2 不祥事の発生件数（項目1/7）

平成25年度における全国の教育職員の懲戒処分者の合計数は何人だったでしょうか。

- ➡ ①約 350人(1日に1人程度)
- ➡ ②約 700人(1日に2人程度)
- ➡ ③約1100人(1日に3人程度)
- ➡ ④約1500人(1日に4人程度)



#### ◇懲戒処分とは

「免職」、「停職」、「減給」、「戒告」の4つの処分のこと。「訓告」(文書や口頭による)や嚴重注意などは、懲戒処分には該当しない。(地方公務員法第29条)

## ③が正解です

平成25年度の全国の懲戒処分者数は、**1,162人**です。平成23年度までは、減少傾向でしたが、以後の3年間は、年々増加しています。

## ■ 過去5年の懲戒処分者数の推移

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
懲戒処分者数	943人	905人	860人	969人	<b>1,162人</b>

◇「訓告」などを含めた不祥事の総数はさらに多くなっています。

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
訓告等を含めた総数	4,020人	4,304人	4,319人	10,828人	<b>9,494人</b>

総数を1日平均とすると26人となります。この数字をどのように感じますか？

平成25年度における全国の教育職員の懲戒処分者のうち、項目別に処分者の多かった順は次のどれでしょうか。

- ➡ ①個人情報保護等→体罰→交通事故・違反→わいせつ等
- ➡ ②交通事故・違反→体罰→わいせつ等→個人情報保護等
- ➡ ③わいせつ等→交通事故・違反→個人情報保護等→体罰
- ➡ ④体罰→交通事故・違反→わいせつ等→個人情報保護等



## ◇参考◇

「個人情報保護等」とは、「個人情報の不適切な取扱い」に関することであり、「わいせつ等」には、「セクシュアルハラスメント」が含まれます。

## ④が正解です

平成25年度には、総数及び懲戒処分者数とも、「**体罰**」が「**交通事故・違反**」を初めて**上回りました**。

	体罰	交通事故・違反	わいせつ行為・セクハラ等	個人情報の不適切な取扱い	その他	合計
懲戒処分者数	<b>410</b> 35.3%	<b>284</b> 24.4%	<b>180</b> 15.5%	<b>31</b> 2.7%	<b>257</b> 22.1%	<b>1,162</b> (91)
訓告を含めた総数	3,953 41.6%	3,097 32.6%	205 2.2%	255 2.7%	1,984 20.9%	9,494 (2,244)

※（ ）は、非遵行を行った所属職員に対する監督責任を問われ、懲戒処分を受けた者の数で外数

体罰は、24年末の案件以来、増加し続けています。(25年度は総数で前年のほぼ倍)

## Page6 体罰に関するデータより (項目2/7)

平成25年度において、校種別に体罰事案が発生した「場面」で最も多い組合せは次のうちどれでしょうか。

- ➡ ①小学校(休み時間), 中学校(授業中), 高校(部活動)
- ➡ ②小学校(授業中), 中学校(部活動), 高校(部活動)
- ➡ ③小学校(授業中), 中学校(授業中), 高校(授業中)
- ➡ ④小学校(休み時間), 中学校(部活動), 高校(授業中)

## ◇体罰の主な要因

- ①一時的な感情の高ぶりで、カッとなって起こしたものの。
- ②常習的に「体罰」が行われていたもの。
- ③「これぐらい」とか「生徒のため」等の認識の甘さが起こしたものの。

## Page7 体罰に関するデータより(項目2/7)

## ②が正解です

小学校では「授業中」が圧倒的に多く、次に「休み時間」。中学校・高校では、「部活動」が最も多く、次に「授業中」となっています。

- 小学校・・・①授業中(61.4%) ②休み時間(15.8%) ③放課後(4.6%)
- 中学校・・・①部活動(38.5%) ②授業中(23.6%) ③放課後(12.7%)
- 高校・・・①部活動(43.4%) ②授業中(22.3%) ③放課後(9.8%)
- 全体・・・①授業中(33.5%) ②部活動(29.5%) ③休み時間(11.9%)

## ◇体罰の主な背景

- ①「愛のムチ」などの「体罰容認論」が認められるという思い。
- ②「勝利至上主義」によるプレッシャー。

「要因」は個人的に、「背景」は組織的に、今一度、各学校(所属)でチェックしてください。

## Page8 交通事故・違反 (項目3/7)

(問)一昨年度(平成25年度)において報告された、県立学校の教職員が関係する交通事故件数は、181件とおよそ2日に1件の高い割合でした。昨年度(平成26年度)における交通事故件数は、どうなったでしょうか？

- ➡ ① 大きく増加した。
- ➡ ② 大きく減少した。
- ➡ ③ ほぼ同数であった。



(交通事故・違反に関する標準的な処分量定[概略])

非違行為等	具体例	免職	停職	減給	戒告
飲酒運転	事故	○			
飲酒運転	検挙	○	○		
30km以上速度違反(一般道)	死亡事故	○			
30km以上速度違反(一般道)	重傷事故	○	○		
30km以上速度違反(一般道)	軽傷事故	○	○	○	
30km以上速度違反(一般道)	物損事故		○	○	○
30km以上速度違反(一般道)	検挙			○	○

## ◇全国の教職員懲戒処分者の3分の1は「交通事故・違反」

平成25年度に全国の教職員が受けた処分(訓告を含めた総数)件数は、9,494件で、そのうち32.6%にあたる3,097件は、交通事故・違反によるものでした。(H27.1月文部科学省発表)

## ◇自転車運転者も自覚を!

改正された道路交通法が、平成27年6月1日から施行され、「信号無視」・「酒酔い運転」等の違反行為をして、3年以内に2回以上摘発された自転車運転者には、「自転車運転者講習」が義務づけられました。(従わない場合は5万円以下の罰金)

### ③が正解です（総数は178件）

総数にして、減少数はわずか3件（1.7%）にとどまり、およそ2日に1件という事故発生割合にほとんど変化はありませんでした。

加害・被害の割合も相半ばしています。

このうち、懲戒処分等（訓告等を含む）の対象となったものが9件と、報告数の約5%を占めています。

**交通事故・違反の当事者となることによる心身のダメージは決して小さくありません。私たち一人一人の意識改革が必要です。**



#### ◇全国の交通事故・違反による懲戒処分等の内訳は…

平成25年度において、交通事故・違反により懲戒処分等を受けた者3,097人のうち、懲戒処分となったのは284人で、その内訳は、免職33人、停職50人、減給68人、戒告133人でした。このうち、**免職33人全員と停職のうちの34人が飲酒運転に係るもの**でした。

（問）平成25年度、全国において、わいせつ行為等（セクハラを含む）で懲戒処分等を受けた者の総数が205人と、初めて200人を超えました。このうちで、免職となった者の割合はどれくらいだったでしょうか？

➡ ① 約20%

➡ ② 約40%

➡ ③ 約60%



#### ◇セクハラに対する標準的な処分量定[概略]（パワハラも準じる）

非違行為（具体例）	免職	停職	減給	戒告
地位を利用し、強いて性的関係を結び又はわいせつな行為をした教職員	○	○		
相手の意に反することを認識の上で、わいせつな言辞、性的な内容の電話・手紙・メールの送付等を繰り返した教職員		○	○	
上記の場合において、相手を強度の心的ストレスによる精神疾患に罹患させた教職員	○	○		
相手の意に反することを認識の上で、わいせつな言辞等の性的言動を行った教職員			○	○

### ③が正解です

○わいせつ行為等に関する懲戒処分等は免職が中心となっています。

（内訳）**免職117人（57.1%）** 停職49人 減給9人 戒告5人 訓告等25人

○懲戒処分等の総数に占める割合は約2%ですが、

**懲戒処分による免職者総数に占める割合は約60%**で最大でした。

○わいせつ行為等（セクハラを含む）は、被害者に大きな心身のダメージを与え、そして教育の効果を大きく阻害する信用失墜行為です。

#### ◇わいせつ行為等の態様

主なものは、体に触る（56人）、盗撮・のぞき（37人）、性交（30人）、接吻（23人）などとなっていますが、前年に比べて大きく増加したのが、児童生徒や同僚教職員に不適切な内容を含んだ電子メールを送るなどの、文書・画像等による性的ないやがらせ（19人；前年度6人）でした。

#### ◇ハラスメント防止の心構え（例）

- ・性的言動の受け止め方には、個人間や男女間で差があることを認識し、相手の人格を尊重する。
- ・異性の児童生徒への個別指導は、密室を避ける。個人的なメールのやりとりはしない。

## Page12 個人情報保護等 (項目 5/7)

(問) 全国の平成25年度における、個人情報の不適切な取扱いに係る懲戒処分等のうち、処分理由として最も多かったのは次のうちのどれでしょう？

- ➡ ① 個人情報が記録された電子データの紛失
- ➡ ② 個人情報が記録された書類の紛失
- ➡ ③ インターネットを介した個人情報の流出



## ◇個人情報取扱者に課される義務

以前なら、記憶媒体やパソコンが盗難に遭えば、学校は「被害者」の立場で釈明できました。しかし、今日では「加害者」として、個人情報管理のずさんさが厳しく非難されます。それは、個人情報取扱者に対して、個人情報の安全管理が義務づけられているからです。例えば、徳島県個人情報保護条例では、次のようになっています。

**第10条第2項 実施機関は、個人情報の漏えい滅失又はき損の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。**

各学校が定める「情報セキュリティポリシー」は、これに基づいているのです。

## Page13 個人情報保護等 (項目 5/7)

## ②が正解です。

処分理由の主なものは次のとおりです。

- ・個人情報が記録された**書類**の紛失 …… 121人(47.5%)
- ・個人情報が記録された**電子データ**の紛失 …… 71人(27.8%)
- ・インターネットを介した個人情報の流出 …… 2人(0.8%)
- ・その他個人情報の漏洩等 …… 61人(23.9%)

最近の3年間、ずっと**書類**の紛失が**電子データ**の紛失を上回っています。



## ◇まず身の回りから

インターネット・SNS等が、私たちの生活の中に急速な勢いで浸透しつつありますが、個人情報に関する不祥事の多くはまだまだ書類の紛失といった古典的なものが占めています。ICTに関する習熟度を高める一方で、**クリアデスク・クリアスクリーンの励行、考査答案やUSBの持ち出し等**での情報セキュリティポリシーの遵守に努めることが求められます。

## Page14 メンタルヘルス (項目 6/7)

(問) 次の2つの問いの解答として、正しい組合せを①～④から選んでください。

(i) 全国の平成25年度における、精神疾患による病気休職者数は？

- A 約 1,000人(教育職員約1,000人に1人の割合)
- B 約 5,000人(教育職員約200人に1人の割合)
- C 約10,000人(教育職員約100人に1人の割合)

(ii) 同年度における、病気休職者全体に占める精神疾患の割合は？

- ア 約30%
- イ 約60%

- ➡ ① Aとア
- ➡ ② Bとア
- ➡ ③ Bとイ
- ➡ ④ Cとイ



## ◇病気休職

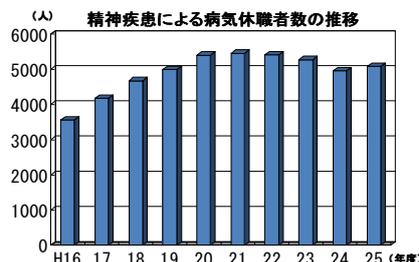
一般的には、病気休暇(本県では最長90日間、精神疾患にあつては180日間)を取得してもなお、復帰に至らない場合に行われる分限処分(最長3年間)です。

## ③が正解です

精神疾患による病気休職者数は、平成19年度以降、**5,000人前後**で推移しています。(右表)

平成25年度における5,078人という数字は、全教育職員数の0.55%にあたります。また、これは病気休職者総数8,408人の**60.4%**を占めています。

➡ 次のページへ



## ◇休職発令時点での所属校勤務年数

1年未満・・・25.6% 1年以上2年未満・・・22.7% 2年以上3年未満・・・16.2%  
(勤務年数2年未満の者で約2分の1、3年未満の者で約3分の2を占める。)となっており、異動等で勤務校が変わってから日が浅い場合が多くなっています。  
勤務環境の変化は、**ストレスを生む大きな原因の一つです。**

(問) 昨年度に本室が実施した、「コンプライアンス推進に関する教職員アンケート」からの問題です。回答結果の組合せを①～④から選んでください。

- (i) あなたの勤務校は、教職員間で何でも話し合え、「報告・連絡・相談」しやすい職場環境(「風通しの良い職場環境」)にありますか。の問いに「不足している」又は「やや不足している」と回答したのは？

A 1割未満 B 約3割 C 約5割



- (ii) あなたの心身の健康状態について、最も近いものを選んでください。の問いに、「心身に少し疲労を感じる」又は「疲労がたまっている」と答えたのは？

ア 約10人に1人 イ 約4人に1人

- ➡ ① Aとア ➡ ② Bとア  
➡ ③ Cとイ ➡ ④ Aとイ



## ④が正解です

- (i) 風通しの良い職場環境に関する問いの回答結果は、「十分にある」(54.5%)、「ある程度ある」(38.4%)という肯定的な回答に対して、「不足している」(1.8%)、「やや不足している」(5.3%)を合わせた値は、**7.1%**でした。

- (ii) 心身の健康状態に関する問いでは、「非常に健康である」(32.4%)、「ある程度健康である」(44.3%)に対して、「心身に疲労がたまっている」(6.0%)、「少し疲労を感じる」(17.3%)を合わせた値は**23.3%**と約4分の1を占めていました。

風通しの良い職場とは、教職員のコミュニケーションが円滑に行える職場、つまり**良好な人間関係が構築されている職場**です。それは教職員全体で作り上げるもの。その意味で、**約1割の者が否定的な回答を寄せていることは、決して看過できません。**それは、**心身の疲労を感じている者が約4分の1**いるという問題とも密接に関わっていると考えられます。

◇平成26年度「理想の教師(職員)・上司(仲間)・職場(学校)」に関するフレーズ 優秀作品より

「うんうん」と うなづく仲間に 癒やしあり

## 各校における「風通しの良い職場環境づくり」の実践やアイデアを活用してみましよう！！

平成25年度に発行した「研修実践事例集」には、平成24年度に行われたり、考えられたりした各校における「風通しの良い職場環境づくり」の実践例とアイデアが掲載されています。もう一度確認してみましよう。

「仕事に係る風通しの良さ」の実践・アイデア

「仕事以外の風通しの良さ」の実践・アイデア

➡ それぞれは、巻末に掲載しています。最後に御覧ください。

コンプライアンス推進の最終目的は、「不祥事の防止」ではなく、「信頼される学校・教職員の実現」です。このことは、「風通しの良い職場環境」という土台の上に、様々な研修・啓発を積み重ねて実現されるものです。

コンプライアンス意識を高めることは、責任ある大人として当然の務めと言えます。未来の徳島や日本を創る子供たちに、私たち教職員が「人としてどうあるべきか」を、自らの言動により示すことが何より大切なこととし、求められている役割でもあります。

今回のeラーニングで得た「知識」を活用して、各所属で研修を深め、信頼される教職員・学校を目指ましよう！



eラーニングによるコンプライアンス研修、お疲れさまでした。  
アンケートの提出に御協力ください。

以上で、研修は終了ですが、引き続いて「研修実践事例集」に掲載されている「仕事に係る風通しの良さ」の実践・アイデア と 「仕事以外の風通しの良さ」の実践・アイデア をお読みください。

## 「仕事に係る風通しの良さ」のアイデア

### アイデア1

学校長とフリートーキング（吉野川高校のアイデア）

- 目的 風通しの良い職場環境や組織づくりをめざし、教職員の士気を高める。
- 日時 適宜（事前に案内は必要）
- 内容

普段話す機会が少ない学校長と教職員が数名で話をする機会を設け、フリートーキングをする。

職員会議等でなかなか意見を言うことができない教職員の考えや意見をくみ上げることができ、今後の学校運営に生かすことができる。学校長が知らない情報や課題等を把握することもできる。

また、教職員が学校長の考えを聞くこともでき、コミュニケーションの場となる。



### アイデア2

しっとく、なっとく、班ミーティング（人権教育課のアイデア）

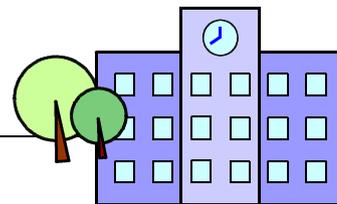
- 目的 担当制の実施に伴い、リーダー、サブリーダーが中心となり、班内のコミュニケーションを図りながら、チームとして業務を遂行する。
- 日時 適宜（事前に連絡は必要）
- 内容

所属内の班単位で定期的にミーティングを行い業務の進捗状況を確認したり、問題点等があれば相談し合ったりして、連携、協力して業務を遂行する。

定期的にミーティングを行うことにより、互いの業務内容についての理解が図られ、問題を感じたときに、一人で抱え込むことなく班で協力して解決することができる。また、班員同士のコミュニケーションを図ることができ、風通しの良い職場環境づくりにつながる。

### アイデア3

遠回り大作戦！（中央高校のアイデア）



- 目的 学校全体に視野を広げ、情報収集のため
- 日時 授業やホームルームを終え、教室から職員室に戻る時
- 内容

職員室に戻る時に、わざと遠回りした経路で歩いてみると

- ①他の学級の様子分かる、②他の先生と廊下で会い会話が増える、③汚れや廊下のゴミに気づく、④自分の学級の生徒がうろうろしていることに気づく等、良いことがいっぱい！

### アイデア4

リフレッシュ&スクラム職員室クリーン大作戦！  
（海陽中学校，中央高校のアイデア）



- 目的 職員室の整理整頓
- 日時 月に1回
- 内容

全教職員で職員室の大掃除をする。使用されていない物、廃棄してよい物等を片付け、職員室内の整理整頓、書類が山積みになっているデスクをすっきりさせることで、物理的に風通しを良くするだけでなく、交流も図る。

職員室内の美化に全員で取り組むことで、気分が一新され、親睦も深まり、教職員間の連帯感も生まれる。

### アイデア5

みんなで改善（加茂谷中学校の実践）

～スキ(好き)な学校，テ(手)を加えて，ステキ(素敵)な学校にするために～

- 目的 学校運営の中に各々の考えを反映させつつ、協働の意識を育てる
- 日時 学校行事が終わる毎
- 内容 行事振り返りシートによる改善活動

少人数の学校では、職員会等で、かえって思っていることが口に出せないことがある。そこで、行事が終わるごとに、教職員全員にアンケートをとり、行事の評価と改善点を記入してもらい、各々の意見は教頭が集約し、次回の職員会等で披露している。

風通しの良い職場環境とは、自由な意見の交換ができるだけでなく、所属する者すべてに有用感を持たせうる職場でなければならない。そのためには、職員間に協働の意識を育てなければならない。

実際の行事改善に関しては、いくつかの行事（資源回収・宿泊学習）において、職員の思いを汲み取ることができ、次回開催に反映できそうである。

## アイデア6

つながるチーム〇〇中大作戦（協町中学校の実践）  
～ホワイトボード・ミーティングで話し合おう～

- 目的 各々の持つ情報を積上げ、課題を見出し、解決のための役割分担を効率よく行うため
- 日時 校内研修・職員会議時
- 内容



校内研修・職員会議で\*ホワイトボード・ミーティングを取り入れ、可視化・可聴化した情報交換を行う。

※ちよんせいこ氏（株式会社 ひとまち）が提案した会議の進め方。ホワイトボードに情報を書き出し、「発散」「収束」「活用」の順序で話し合いを進める方法。

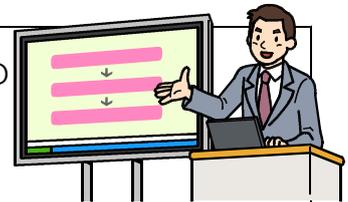
（効果）

- ・情報を可視化・可聴化することにより、情報交換が漏れなく重なりなく効率よくできた。
- ・その場にはいない職員も、ホワイトボードを見るだけで、情報が一目瞭然に把握できた。
- ・書き込まれたホワイトボードから、課題が明確になり、今後の取組や役割分担まで詳細に確認することができた。

## アイデア7

何でも相談！みんなで対応！「風通し委員会」  
（徳島科学技術高校のアイデア）

- 目的 学校運営や教育活動のあり方等に関する教職員の意見が活かされる仕組みをつくる。
- 日時 適宜
- 内容



- ・管理職、学年主任、課長等を委員とする「風通し委員会」を設置する。
- ・「風通し委員」は、教職員からの相談を受けたり、教職員に声かけを行う。
- ・「風通し委員」には何でも相談できるという、職場の雰囲気醸成する。
- ・「風通し委員」は、相談内容に応じて、教職員が適切なアドバイス等が得られるように対処する。
- ・学校運営や教育活動のあり方等に関する相談については、月1回程度開催する「風通し委員会」で話し合い、改善策を検討する。

（期待される効果）

- ・教職員が相談しやすい「風通し委員」に悩みや意見を相談できる職場の雰囲気が醸成される。
- ・「風通し委員会」により、教職員からの意見や提案を検討し、学校運営や教育活動に役立てることで、現状に対して、改善志向をもって意見を述べ合い、研鑽し合う教職員組織がつけられる。

## アイデア8

はぐくみ会（新野小学校の実践）

- 目的 教職員の児童共通理解
- 日時 毎月第3月曜日 放課後
- 内容

本来は、児童理解の話合いの場ではあるが、茶話会もかねている。事例と向き合うことは時として厳しいものであるが、この会の時にはいつも季節のお菓子や飲み物を準備して話し合っている。そうすることで、会話も弾み心も癒されているように感じる。

一緒に悩みを分かち合える仲間がいるということ、またおいしい食べ物があるということで肯定的な意見が多い。

準備するときも、季節にあったものや珍しいもの、また各地域のものなどさまざまあるが、選ぶのも楽しいし職員も毎回楽しみにしている。



## アイデア9

ぽくぽく親睦昼食会（東祖谷中学校の実践）

- 目的 教職員だけでなく、生徒も含めてコミュニケーションを図り、風通しの良い学校づくりを目指している。
- 日時 毎月「食育の日」に実施
- 内容

全教職員・全生徒で教室を離れ一緒に給食を食べて会話を楽しんでいる。会話の中からアイデアを引き出せたり、協働意識が生まれたりしていると感じる。みんなで学校をつくる心の絆をつくるという所属感が生まれます。

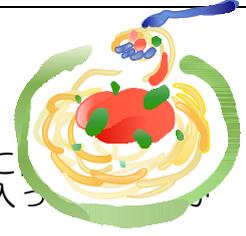
## 「仕事以外での風通しの良さ」のアイデア

### アイデア10

“楽しいこと” しょう会（神山中学校の実践とアイデア）

- 目的 職員間の和とコミュニケーションの向上を図る。
- 日時 年度当初や、学期末の親睦会で十校内研修で
- 内容

- ①親睦会では、必ずゲームやクイズをする。  
（例えば）年度初めの歓迎会では、新しく入った先生方に「これは誰でしょう」をする。事前に新しく入った先生方から趣味や嗜好を聞いておいてクイズにする。
- ②校内研修の時に、学校で、美味しい物を作ろう。  
（実践例）学校菜園で収穫した物を使って、アイデア料理。好評だったものは、収穫したイモで、「紅いもタルト」、トマトとバジルを使って「手作りピザ」、モーターとアルミ缶で「手作り綿菓子」、「アメゴと煮卵の燻製作り」。



楽しいことを企画して、みんなでわっと騒ぎましょう。仕事は、いくらしてもきりが無い。早めに計画すると、楽しいことを考える時間が持続する。学校を楽しくするのは、自分たち（職員）です！

### アイデア11

私たち癒され隊♥（城北高校の実践とアイデア）

- 目的 日頃のストレスの解消のため
- 日時 学期末や年度末十校内研修で
- 内容

- ①女子会を開催したところ、多くの教職員が参加し、異世代交流や日頃校務分掌の異なる先生方と話が弾んでとても良かった。
- ②定期考査の時などの研修で、時には「癒し」の研修を企画する。  
（例えば）・アロマオイル研修  
・ツボ押しの研修  
・美味しいものをみんなで作って、みんなで食べる etc・・・。

### アイデア12

みんなで歩こう！校区たんけん！（大松小学校のアイデア）

- 目的 気分転換十地域への理解を深める
- 日時 季節の良い春と秋に1度ずつ
- 内容

教職員は、意外と校区（地域）のことを知らないし、集まって歩いたりしていない。まずは、車で出かけそこから地域を探検しながら学校に帰ってくる。集団で歩けば、コミュニケーションも深まるし、地域の方々とふれ合う機会も多くあるはず。みんなで歩くだけで、リフレッシュ！

## アイデア13

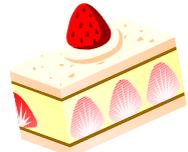
お誕生日に話そう会（人権教育課のアイデア）

○目的 職員同士の誕生日を祝うとともに互いに感謝の気持ちをもつことにより、親睦を深め、働きやすい雰囲気づくりをする。

○日時 所属職員の誕生日

○内容

- ・簡単な誕生会を行う。
- ・スピーチ（誕生にまつわるエピソード、名前の由来、将来の夢などを語る）
- ・メッセージ（〇〇さんのいいところ、感謝の言葉などを伝える）
- ・乾杯（お茶やコーヒーを飲みながら、楽しく語り合う時間をとる）
- ・誕生日の職員は、早めに退庁しリフレッシュする時間に充てる。



業務以外のことについても互いに知り合うことができ、互いの良いところや感謝の気持ちを伝え合うことで、個々の職員の自尊感情が高まる。

また、互いの良いところを伝え合う中で、業務に対する姿勢が確認され、所属全体の業務改善につながる。

加えて、早めに退庁し、個人の趣味や家族団らんなどの時間をもつことにより、リフレッシュでき、業務に取り組む意欲が増す。

## アイデア14

ランチ・ミーティング（城北高校のアイデア）

○目的 学年等の垣根を越えて親睦を深める

○日時 定期考査の昼食時等

○内容

教科や校務分掌で集まり、昼食会を開き、情報交換や親睦を深める。職員室で過ごす時とは違う新たな一面を知ることができ、それによって職員室でのコミュニケーションが増える。



## アイデア15

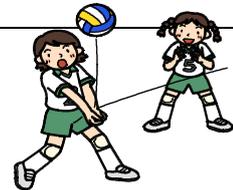
話（わ）～和（わ）～輪（わ）～（大松小学校のアイデア）

○目的 教職員の親睦を図る

○日時 毎月1回1時間程度

○内容

スポーツ大会（バレー、卓球、その他何でも）、茶話会、トランプ大会等々思いつく限りのことを全員で楽しむ。



## アイデア16

めだつところへ「フレーズ」掲示  
(美馬市喜来小学校のアイデア)

- 目的 繰り返してのコンプライアンス意識の醸成
- 日時 常時
- 内容

- ・一人になる時間（職員トイレ）や、必ず立ち止まる職員室の出入口に今年応募した「フレーズ」を1フレーズずつラミネートにかけて貼る。
- ・掲示する「フレーズ」や場所を定期的にローテーションすることで、目先も変わり、リフレッシュできる。
- ・自分たちで考えた言葉であるので受け入れやすい。
- ・自校内で再募集し、「フレーズ」を増やしていく。



## アイデア17

ありがとうの広場  
(板野支援学校のアイデア)

- 目的 教職員間のコミュニケーションを活性化させる
- 日時 誰かに感謝の気持ちを伝えたい時（随時）
- 内容

ありがとう

教職員が「してもらってありがとう」と思ったことをハート型の付箋に記入して、職員室の「ありがとうの広場」（掲示板）に貼る。ハート型の付箋は、掲示板付近に用意しておく。

その場で「ありがとう」「お世話になりました」と言うことは習慣づいていると思うが、それを目に見える形で表し、みんなで「ありがとう」の気持ちを共有する。

小さなことでも、付箋に貼って視覚化することで、感謝の気持ちを残る形ではっきりと表すことができる。このやり方が好評であれば、ホール等に児童生徒用の「ありがとうのひろば」（掲示板）を設置する。

## アイデア18

「ありがとうカード」大作戦（昼間小学校のアイデア）

- 目的 教職員間の心のふれ合いを活性化させる
- 日時 誰かに感謝の気持ちを伝えたい時（随時）
- 内容

企業等が導入していますが、教職員相互で「助けられたこと」「手伝ってもらったこと」「うれしかったこと」等を「ありがとうカード」に書いて「ありがとうボックス」に投函、または机の上に置いていく。

Thank You